



はなのき

神坂小学校だより No.3 2023.5.24



期待と満足、笑顔と感謝があふれる神坂小学校

校長 伊藤 博章

家庭訪問へのご協力、ありがとうございました。短い時間ではありましたが、学校での様子や家庭での過ごし方等について交流することができました。

さて、学校だよりの4月号で「期待の登校、満足の下校」ができる神坂小学校を目指したいことをお伝えしましたが、その具現に向かっている子供たちの姿がたくさん見られます。そのいくつかを紹介します。

①朝の会での先生とのやりとりの中で

先日、5年生の朝の会でのことです。担任の先生が、「今日は休み明けやけど、どんな気持ちで学校に来ましたか？」という質問に対し、「今日は気分がいい。いいことありそうで楽しみに学校に来た。」と答えている児童がいました。学活と総合的な学習の時間が楽しみとのことでしたが、前日の帰りの会で翌日の内容（ねらい）を伝えることはとても大切な手だてであることを強く感じました。

②子供たちの元気な歌声で一日がスタート

ここ数年、合唱活動が満足にできない状況でしたが、今年度は朝の会で、各教室から歌声が聞こえてくるようになりました。それを聞いていると、学校らしい活力を感じることができ、その姿も体でリズムをとりながら、大きな口を開けて元気に笑顔で歌うことができ、ワクワク感のある一日のスタートをきるできています。



③感謝の気持ちがあふれる黒板に感動

6年生が総合的な学習の時間で「神坂・馬籠地内の史跡めぐり」に出かけました。見学を終えて教室に戻ってくると、黒板が5年生からの感謝のメッセージでいっぱいでした。「六年生のみなさん、いつもありがとう」の見出しを囲うように、5年生一人一人が6年生一人一人に向けて感謝の言葉を記していました。ぽかぽか言葉でいっぱいのメッセージと「私たちも六年生を見習って行動していきたいです」という言葉に、6年生はとても励まされ、よりたくましいリーダーに育って欲しいと思います。



子供たちは「おはよう」の声とともに元気な笑顔で登校し、「さようなら」と見送りの先生方に手を振りながら下校しています。その子供たちの姿に、私たち職員もエネルギーをもらって毎日過ごすことができます。